

2025年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：高田 旭人（たかた あきと）

現 職：株式会社ジャパネットホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO

略 歴：2002年 3月 東京大学教養学部 卒業
2002年 4月 証券会社 入社
2004年 株式会社ジャパネットたかた 入社
2010年 9月 株式会社ジャパネットコミュニケーションズ 代表取締役社長
2012年 7月 株式会社ジャパネットたかた 取締役副社長
2015年 1月 株式会社ジャパネットホールディングス
代表取締役社長 兼 CEO
2025年 2月 株式会社ジャパネットホールディングス含むグループ8社の代
表を務める

経営協議会委員の在任年数：0年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：該当なし

【選考理由】

高田 旭人 氏は、良いモノを「見つけて・磨いて・伝える」という理念のもと通信販売事業を展開する株式会社ジャパネットホールディングスの代表取締役社長 兼 CEO である。同氏は、本学の教養学部を卒業後、証券会社での勤務を経て、実父が経営する株式会社ジャパネットたかたに入社し、2015年に2代目として事業を継承するかたちで株式会社ジャパネットホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO に就任、売上を更新し続けている。

また、通信販売事業に並ぶ2つ目の柱としてスポーツ・地域創生事業を掲げており、プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」を経営するとともに、2020年には地元長崎初となるプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」を創設、2024年10月に開業した「長崎スタジアムシティ」の事業者として民間主導の地域創生事業を手掛ける等、地域の活性化に尽力され、地域が抱えるさまざまな課題に対して、本学が有する学知を統合して取組む重要性に理解と共感を示されている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経緯協議会の学外委員の選考方針について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。